

第23回 地域の声委員会の概要について

平成23年12月6日に開催した地域の声委員会では、平成23年度第2四半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに、今後の発電所の運営に反映できるよう検討しました。

東北地方太平洋沖地震以降、皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、安全を最優先に地震や津波への対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

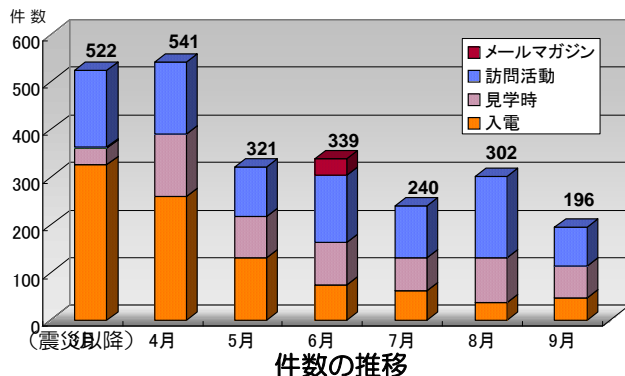
東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、738件の“声”をいただきました

(平成23年度第2四半期)

3月11日の東北地方太平洋沖地震以降、発電所に直接電話をいただくもの、当社社員による地域訪問活動によるもの、PR施設見学時にいただくものなどから、多くの厳しいご意見・ご要望をいただきました。



【いただいた声の分類】

- 福島の状態について : 43件 (約 6%)
- 放射線関連について : 56件 (約 8%)
- 広報活動について : 156件 (約21%)
- 地震・津波対策について : 77件 (約10%)
- その他お叱りの声 : 35件 (約 5%) など

【いただいた主な声】

- 福島第一の事故収束の気配が全く見えない。いつ収束するのか？
- 東電は事故を起こした当事者として補償への関わり方、避難者への支援が不足しているのではないか。
- 柏崎は津波対策はもう実施したのか。福島の前例を活かしたものなのか。
- 電力供給をしっかりと行わないと、日本が暗くなる。
- 発電所の津波対策について、我々素人には判断できず、東電を信用するしかないのに地元の期待を裏切ることだけではないように。
- 今まで原子力には興味がなかったが、今回の事故をきっかけに勉強をしてみようと思い見学に来た。わかりやすい展示館で良かった。
- 福島から電話している。今日も雨の中でいろいろと苦労されているのがよくわかる。お互い大変だと思うが、ぜひ頑張って欲しい。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、下記のような点などについて取り組んでまいります。

- 福島事故の収束に向けた進捗状況や、当発電所の地震・津波対策等については、引き続き、広報誌やホームページなどを通じて、随時お伝えしてまいります。
- これまで以上に地域の声を集め、地域の方々の不安解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、引き続き所長以下発電所内と本店で共有し、今後の事故収束に向けた取り組みや広報活動に活かしてまいります。

今後も皆さまからいただいた声をしっかりと業務や発電所運営に反映するとともに、引き続き、安全・安定運転に努めてまいります。